

年次報告書の構成変更について

1. 背景

平成 22 年度第 1 回知床世界自然遺産地域科学委員会において、敷田委員より年次報告書について、【管理計画の進捗状況の確認や遺産地域の保全管理状況が明確になるステータスレポート化を図る】という構成変更の提案（参考資料）がなされ、平成 23 年度より 3 年間かけて構成を変更することとなった。

2. 構成変更の内容について

構成変更の方向性として、以下の 5 項目が挙げられた。

- 管理状況とその時点の課題がわかる媒体とする
- 管理の目標と管理の実行状況が明確になるように記載する
- モニタリングや研究データは付録または別冊として、一覧性を高める
- 外部関係者に知床世界自然遺産地域の現況が説明できる媒体とする
- 報告書から統一的に各種 PR 教材や広報資料が作成できる統一データベースとする

3. 変更後の年次報告書の内容について

敷田委員より提案頂いた内容を目次として、平成 21 年度年次報告書の目次と比較すると以下ようになる。

・平成 21 年度作成の白書目次

平成 21 年度 知床世界自然遺産地域の主な動き

知床世界自然遺産地域管理計画の実施状況

以下、知床世界自然遺産地域管理計画の「管理の方策」の各項目が記載されている。

平成 21 年度知床世界自然遺産地域の現況

1. 知床世界自然遺産地域の利用状況
2. 知床地域におけるハード事業の実施状況
3. 知床地域の保全管理（ソフト事業）の状況
4. 各種会議の開催状況

・敷田委員提案の内容

0. 要約

- 生態系と利用に関する現況説明
- 事業や予算の集計、管理に係る行政機関の人員などの概況
- 今年のトピック一覧

1. 知床世界自然遺産地域の管理の理念と目標

- 管理の理念と方針
- 管理計画の概要
- 管理区域とその定義

2. 知床世界自然遺産地域における問題と今後の課題

- 今年度時点での課題とその解決状況を明記

3 知床世界自然遺産地域の生態系の現況と評価

- 生態系の動向、生態系ユニットごとに簡潔にまとめる
- モニタリングの実施状況

4 知床世界自然遺産地域の利用状況と評価

- 漁業、観光、レクリエーション、その他の産業などの利用状況を簡潔にまとめる

5 知床世界自然遺産地域管理計画の実施状況と評価

1)省庁別関係ハード事業及びソフト事業の実施状況

概要は覧表にして簡単に記述

2) 管理主体

- 管理体制の解説と各種会議の開催状況
- 関係機関の体制と人員配置

3) 現行の規制・制度の概要

6 . 管理実施の総合的評価

7 . 付録